



あんぽなしニュース

安保法制違憲訴訟やまなし

第5号



会長 椎名慎太郎 / 事務局長 金野 奉晴 連絡先 ☎ 0551-46-2359 ✉ tk0612@plum.plala.or.jp URL: https://anponashi.jimdo.com/

皆様、初めまして。
私は、山梨における安保違憲訴訟の弁護団の事務局をしており、甲府合同法律事務所の弁護士の加藤英輔と申します。

平成29年12月19日(火)に甲府地方裁判所にて午後3時から午後4時まで第1回弁論が開かれ、その後、山梨県弁護士会館で1時間程度の報告集会が行われましたので、そのこ

第一回口頭弁論を終えて

弁護士 加藤英輔



第一回口頭弁論開かれる 原告6人が陳述

昨年12月19日、安保法制違憲訴訟やまなしの第一回口頭弁論が甲府地方裁判所で開かれました。法廷 211号室正面には、峰俊之裁判長、左右にそれぞれ陪席裁判官が座し、代理人席は、原告側9名、被告側8名が並びました。そして原告代理人の真後ろに陳述人6名と事務局スタッフ10名が座り、約50の傍聴席は報道関係者も入り満席となりました。

今回は、原告側の陳述が中心に進められ、最初に寺井弁護士の陳述、原告6名の陳述と続き、法廷は一人ひとりの陳述が持つ切実感が戦争を拒否する圧倒的な力となって収斂していくような凜とした空気で満たされました。

裁判の後は、隣接する弁護士会館で報告集会が行われました。この会場もほぼいっぱい(60~70名)で、裁判を傍聴したみなさん、抽選で漏れ裁判傍聴ができなかった方々の多くも参加し、熱気であふれました。今回の口頭弁論について弁護団事務局の若手弁護士、加藤英輔さんが報告レポートを寄せています。

第二回口頭弁論は3月20日(火)午後3時です

報告をいたします。

第1回口頭弁論の内容として、原告の訴状、被告からの答弁書が陳述され、次期日(平成30年3月20日午後3時から甲府地方裁判所で開かれます。)までに原告らからの反論を行うこととなりました。

この裁判の中で、原告団から総勢6名及び原告訴訟代理人を代表して東京弁護士会所属の寺井一弘先生から併せて1時間弱の意見陳述がなされました。裁判官の方々はこれらの意見陳述を真剣な顔で聞いており、原告団及び弁護団の気持ちが伝わったのではないかと思います。

第1回弁論終了後は、山梨県弁護士会館で報告集会を1時間程度行い、寺井先生にも引き続きご参加いただきました。寺井先生からは、原告団の意見陳述が素晴らしいこととこの意見をいただくことも、山梨県の弁護団に対して、次回以降も引き続き原告の意見陳述が実施されるように努力するよう叱咤激励いただき、大変盛り上がった報告集会となりました。

今後は、理論面及び運動面でのよう

▼あんぽなしの意見陳述を読み、思い出した恩師の言葉。「彼(韓国人)の肉親は日本軍に殺されたのは日本兵、わたしの父親かも知れない。▼彼の願いは日本が平和憲法を守り、海外侵略を二度としないこと。▼韓国人の彼は参政権を持たない。」この恩師の思いを胸に私は安保法制を廃棄し、9条を守ることで戦争責任を果たしていきたい。(K.T)



あんぽなし cafe



わたしの原告宣言

平和こそが次世代へのおくりもの

志村 貞子 (山梨市歌田)

満州事変・支那事変・ノモンハン事件・太平洋戦争と、15年戦争の真っ只中に育った私にとって、戦争は日常であり、ごく普通のことだったのです。

伊丹万作の「騙された者の責任も・・・」という言葉に、私は自分も騙されていた一人だったと、簡単に思ってしまった。アカとか非国民とか決めつけられる人達を、そう思い込んでいた自分の怖さには全く気づかずに。今にして思えば戦争という日常生活の中で疑うこともなく、知ろうともせず、ただ素直に純真に本気で精一杯「お国」の為に生きていたのです。

ポツダム宣言受諾のラジオを聞いて大声で泣きましたが、黒布で覆わない明るい電灯の下で夜を迎えられては、としました。それから何十年、平和を空気のよう感じて生きてきました。

小学校の教師としての力量をつける中で、憲法で保障されている人権が踏みにじられるような体験をした女性たちの裁判に出会い、その支援活動を通して憲法や平和について次第に深く考えるようになりました。

これまで、山梨市9条の会・山梨

県女性9条の会・山梨県9条の会の一員として活動が続けてきました。90才を前にした私には、子ども、孫たち次の世代の人達のために「平和」こそが何よりの贈り物だと思っています。「誰の子も殺させない」という若いママたちの祈り、期待に応えたい、数の力に対抗する大きな力になれる、そんな思いも込めて違憲訴訟の原告になりました。

歴史への責任

渡田徹 (北杜市白州町)

先の大戦で私の叔父は硫黄島の激戦の中、戦死しました。今でも実家の仏壇の側に遺影が掲げられています。仏壇に供え物をしながら毎朝私の母が遺影に向かって手を合わせていたことを思い出します。父母から伝え聞く話の中から、人間と人間が相手の命を奪い合う戦争というもののむごたらしさや悲惨さを感じながら子供時代を過ごしました。

子どものころから近現代の歴史にはとても関心があり、その中で学んだ歴史的事実、戦争体験者の話などを聞き取りにつれて、今の憲法が謳う戦争放棄条項こそが、人類の未来を保証してくれ、この混沌とした世界の中でも生きていく希望を与えてくれる最高法規であると、この憲法を誇りに思っ生きてきました。

その最高法規を無視する形で、安保法制を制定した政府の行為は、主権者である国民の意思を、立憲主義をも踏みにじる行為です。さらには

大戦で命を失った三百万人余の日本人、二千万人を超えるアジアの人々の命を再び踏みつけにする非道な行為に他なりません。このような法治主義を蹂躪する政治のやり方を放置することは、安保法制が違憲であるばかりでなく、社会全体が法を無視する風潮へと変化していく重大な分岐点にたえずでいる気がしてなりません。これに抗するために私は原告になりました。



お知らせ

第一回あんぼなしカフェ安保法制は違憲!!

被告・国は提訴にどうこたえたか -答弁書を斬る-

講師: 雨松拓真さん(あんぼなし弁護士) 椎名慎太郎さん(山梨学院大学名誉教授)

日時: 3月3日(土) 1時~3時

場所: 県立図書館 104号室

- ★国の将来がかかるこの訴訟、勝つための一歩を一緒に! どなたでも参加できます。
- ★参加は無料です。
- ★訴状と答弁書は あんぼなしHPで閲覧できます。事前学習にお役立て下さい。

あんぼなしのホームページ

<https://anponashi.jimdo.com/>

はこのほど大幅なリニューアルを実施、訴状や答弁書、ニュースのバックナンバーなど閲覧できます。ご利用ください。

★あんぼなしでは、引き続き賛同人の募集を行っております。賛同人となつてわたしたちの訴訟を支えてください。「匿名のカンパ」も歓迎です。申し込みは事務局またはお知り合いの事務局員にお問合せください。

緊急学習会「今、南西諸島がヤバイ!」小西誠氏(軍事評論家)

2月25日(日) 午後1時半~3時半 長坂改善センター2階

戦争ができる国になってしまった日本。その日本の中できな臭さ最前線ではないだろうか。沖縄から台湾に向かって弧を描くように伸びる南西諸島。そこに急ピッチに強引に自衛隊基地が建設されている。これはヤバイ!

主催団体: オール北杜、安保法制違憲訴訟やまなし